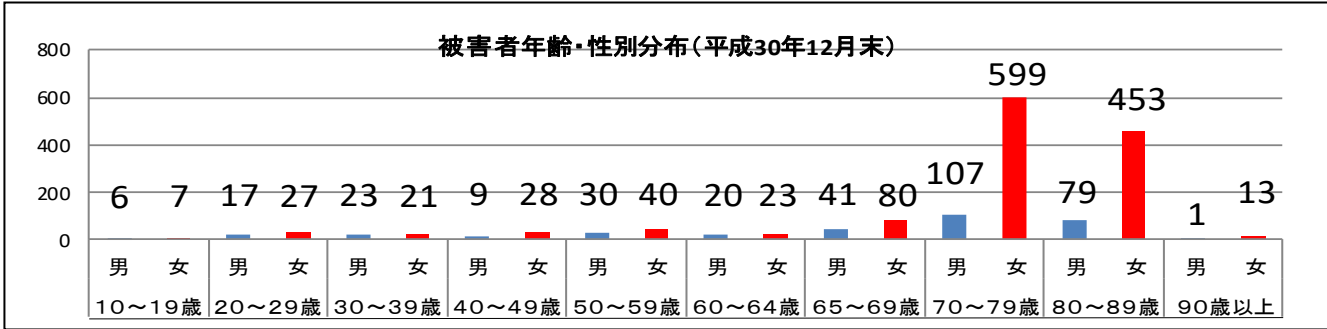


被害者年齢・性別分布



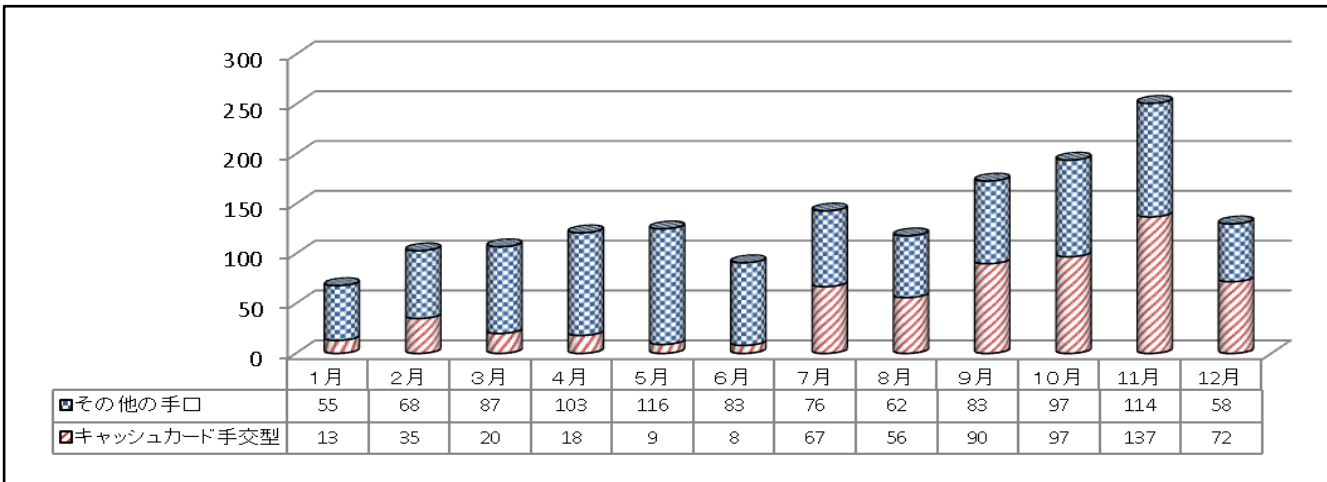
性別の割合

○ 特殊詐欺全体 男性20%(333人)、女性80%(1,291人)

65歳以上の高齢者の割合

- 特殊詐欺全体 85%(うち、男性17%、女性83%)
- オレオレ詐欺 99%(うち、男性12%、女性88%)
- 架空請求詐欺 58%(うち、男性24%、女性76%)
- 還付金等詐欺 91%(うち、男性36%、女性64%)

キャッシュカード手交型認知状況



○ キャッシュカード手交型の主な手口

1 百貨店等騙り

百貨店、家電量販店の店員を騙り、「あなたのクレジットカードが悪用されています。」又は銀行員、銀行協会職員を騙り、「カードが悪用されないよう処理します。暗証番号を教えてください。」「担当者が今からカードを取りに行きます。」等と嘘を言って、キャッシュカードをだまし取る。

2 還付金等名目

市(区)役所職員を騙り、「保険料(医療費)の還付金があります。お手持ちのカードでは入金手続きができません。こちらで変更の手続きをするのでキャッシュカードの暗証番号を教えてください。担当者が自宅までカードを預かりに行きます。」等と嘘を言ってキャッシュカードをだまし取る。

被害防止状況

注意: 当数値は、手集計によるもので正式な統計ではない。

【月別推移】

平成30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
欺罔電話等把握件数	418	798	842	1,016	933	755	878	638	993	1,563	1,602	1,145	11,581
被害が防止された事案件数	360	702	743	903	816	671	740	529	829	1,377	1,372	1,026	10,068
自らの看破等による被害防止件数	254	566	611	780	686	584	622	446	677	1,219	1,197	886	8,528
未然防止件数(第三者によるもの)	106	136	132	123	130	87	118	83	152	158	175	140	1,540
認知件数(既遂)	58	96	99	113	117	84	138	109	164	186	230	119	1,513

※ 各件数は、特殊詐欺対策室において把握した事案について計上(被害届出(未遂、既遂)、相談、情報提供、金融機関からの報告等)  
 ※ 自らの看破による被害防止件数は、詐欺の欺罔電話等を自ら看破し被害を未然に防止した件数(警察に申告があった件数)  
 ※ 第三者による未然防止件数は、詐欺の欺罔電話等に対し、第三者の介入により被害を未然に防止した件数